

# 令和4年度予算概算要求(酒類業振興関係)の概要【計22.7億円(1. 新市場創造関係 13.2億円) 2. 輸出促進関係 22.5億円】

## 1. 新市場創造関係 (1)~(3):13.2億円

※カッコ内はR3当初予算

### (1)新市場創造支援事業 要求額:13億円 (7億円)

※フロンティア補助金6億円(R2補)から新市場開拓支援事業費補助金6億円に改編

- ① 新市場開拓支援事業費補助金 **新規** 6億円  
(対象となる取組)
  - ・ 商品の差別化による新たなニーズ獲得事業
  - ・ 販売手法の多様化による新たなニーズ獲得事業
  - ・ ICTを活用した製造・流通の高度化・効率化事業
  - ・ コロナ禍による市場環境変化への対応事業 **追加**
- ② 日本産酒類海外展開支援事業費補助金 7億円  
(対象となる取組)
  - ・ 日本産酒類のブランディング事業
  - ・ 酒蔵ツーリズムによるインバウンド需要開拓事業

### (2)若年層向けビジネスコンテスト **新規** 要求額:0.1億円 (一)

国内需要の掘り起こし、若者に支持される製品やサービス、更なる輸出拡大のための方策等のテーマについて若者の自由な発想で構築するビジネスプランを募集。優秀プランを表彰・公表。



### (3)中小企業等経営支援経費 要求額:0.1億円 (0.1億円)

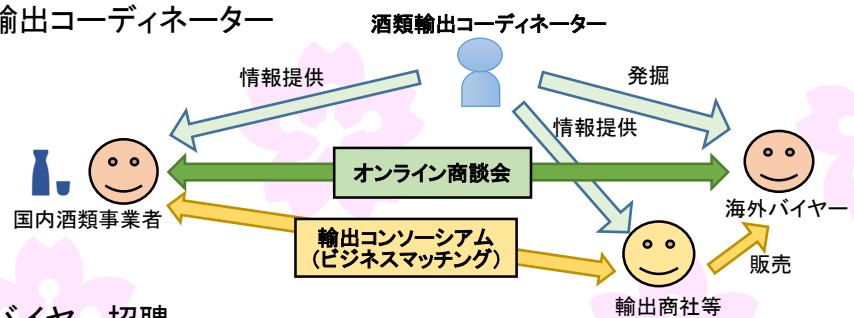
- ① 活性化・経営革新研修
- ② 事業承継セミナー **新規**  
日ごろから酒類事業者と接触している国税局と専門的支援を行う中小企業庁の各種施策と連携し、幅広い場面に応じた支援が可能な体制を構築。

## 2. 輸出促進関係 (1)~(4):22.5億円

### (1)新市場創造支援事業(再掲) **新規** 要求額:13億円 (7億円)

### (2)海外販路開拓支援 要求額:5.2億円 (2.9億円)

- ① オンライン商談会等 **拡充**
- ② ビジネスマッチング
- ③ 酒類輸出コーディネーター
- ④ 海外バイヤー招聘
- ⑤ 海外市場調査



### (3)国際的プロモーション 要求額:2.2億円 (2.5億円)

- ① ジャパンハウス等でのPR **拡充**
- ② 海外酒類専門家等育成 **一部新規**  
海外の料理教室と連携し、日本産酒類と現地の食材のペアリングメニューの開発やレッスンを通じた認知度向上を実施等。
- ③ ユネスコ登録の機運醸成 **拡充**  
日本酒等のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成するための各種PR事業



### (4)日本産酒類ブランド化推進 **拡充** 要求額:2.1億円 (1.3億円)

地理的表示(GI)酒類のブランド価値向上のため、酒販店や料飲店で消費者向けにサービスを行う者やソムリエ等の消費者への情報発信力がある者を対象としてシンポジウムを実施。  
※ 琉球泡盛等のプロモーションを含む

(注)この他に令和4年度概算要求において、以下を計上。

- ・ 酒類総合研究所に対する運営費交付金【10.5億円】(ブランド価値向上等に資する研究、国内外への情報発信強化等)
- ・ 日本酒造組合中央会の國酒振興事業に対する補助金【6.5億円】(輸出戦略を踏まえた活動事業費、海外サポートデスクの増設、イベント等を通じた消費者に対する情報発信等)